

JNCAP 2020年評価における シートベルトリマインダー（PSBR） 評価点検討

衝突安全技術検討WG
2019年 12月

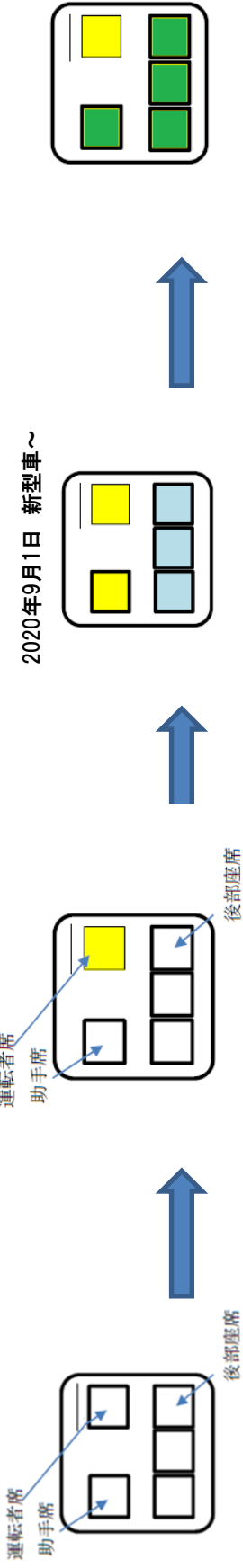
保安基準及びJNCAP PSBR評価概要





SBRなし

現行の保安基準
R16-06相当

JNCAP評価

改正後の保安基準
R16-07相当



	イグニッションON時	走行時	表示、音の確認
	非着用時に表示警報	非着用時に表示及び音で警報	運転者が視認できること
		着用→非着用時に表示及び音で警報	
	非着用時に表示警報	非着用時に表示及び音で警報	運転者、及び乗員が視認できること
		義務付けなし	義務付けなし

UN-R16-07適用後のJNCAP評価は乗員からの表示、音の確認

2020年 JNCAP PSBR評価 (現行4点→改正後3.6点)

表1 2020年評価PSBR 評価点

位置	警報種類	要件	点数	備考
運・助・後	—	UN-R16-07	2.40	認可証提出、 もしくは法規と同じ試験実施
助手席	聴覚警報 (音)	助手席から確認できること	0.48	UN-R16-07相当で対応可
後席	視覚警報 (表示)	後席から確認できること (チェンジオブステータス)	0.12	後席乗員検知不要で対応可
		後席から確認出来ること (車両発進時)	0.12	
		後席から確認できること (チェンジオブステータス)	0.24	
	聴覚警報 (音)	後席から確認出来る事 (車両発進時)	0.24	後席乗員検知必要

合計3.60点

表2 各レベルの評価点

レベル	評価点 (点)
レベル5	3.3超～3.6
レベル4	3.0超～3.3以下
レベル3	2.7超～3.0以下
レベル2	2.4超～2.7以下
レベル1	2.4以下
	合計 1.2点

①UN-R16-07非対応車の得点付与
→R16-07（新基準）に適合した車両に2.4点を付与する。
新基準に適合しない車両は、効果（NCAP評価分）の点数を付与しない。
よって、新基準に適合しない車両は0点

②後席評価の得点配分
→後席の座席数で得点を配分する。

③チエンジオブステータス試験（※）の取り扱い
現行試験ではチエンジオブステータスのみの車両は“試験を行わない”
→新法規（R16-07）では、（発進時の警報がなくとも）当該試験を実施するので、
2020年JNCAP PSBR評価では“チエンジオブステータスのみでも試験を実施する”

※チエンジオブステータス警報：

走行している時に「座席ベルト着用状態」から「座席ベルト非着用状態」になった際に
警報するもの

【参考】

現行 JNCAP PSBR評価

評価席	要件	警報種類	点数				備考
			運転席 から確認可	運転席 + 評価席 から確認可	運転席 or 評価席 から確認可	評価席 から確認可	
助手席	車両発進時 + チエンジオブステータス	視覚警報 (表示)	-	-	10	-	50点
		聴覚警報 (音)	-	40	20	-	
後席	車両発進時 + チエンジオブステータス	視覚警報 (表示) コンソール等	-	25	12.5	-	50点
		視覚警報 (表示) メーター内等	12.5	-	-	-	
		視覚警報 (表示) 天井等	-	-	-	12.5	
		聴覚警報 (音)	-	25	12.5	-	

※1 衝突安全性能評価に使用する得点算出には、重み係数「0.04」を乗じている。(効果：衝突全体100点中「4点」)

※2 赤字は、助手席／後席の視覚／聴覚警報での満点を示す。

合計100点

現行は助手席50点・後席50点
UN-R16-07対応後のJNCAP新評価では
UN-R16-07 (新法規) 評価部の「2.4点」に助手席と後席のシートベルト非装着
状態に対して運転席から確認 (表示・音) できる項目の評価を含んでいるため、現行
の “助手席：後席 = 50 : 50” の配点比率は見えなくなります。